

# 天台声明とラップランド 民族音楽ヨイクの 音楽交流に協賛

## 開催日程

2007年10月19日(金) 比叡山延暦寺 根本中堂 (滋賀県大津市)

2007年10月20日(土) 御池創生館 (京都府京都市)

やまなみホール (兵庫県丹波市)

2007年10月21日(日) 福知山成美高等学校 (京都府福知山市)



『ブルーベリーアイ』の原材料、北欧産野生種ブルーベリー「ビルベリー」。その故郷、北欧への恩返しとして、わかさ生活は日本とフィンランドの架け橋となり、双方の理解や友好を深めるための活動「日本・フィンランド友好プロジェクト」を応援しています。



昨年はフィンランドの2大都市にて「天台声明」とフィンランドの民族音楽「ヨイク」のコラボレーションコンサートに協賛し、大盛況の公演となりました。今年はその舞台を日本に移し、「天台声明」と「ヨイク」、そして、ビルベリーの故郷、フィンランドのロヴァニエミ市から、ラップランド民謡を歌う市民合唱団「ベルカント」を招いて行なわれた音楽交流に協賛しました。

## 日本音楽の源流「天台声明」と フィンランド北極圏の民族音楽「ヨイク」

### 天台声明とは

日本の音楽の源流ともいわれている、インドを起源とする仏教の儀式音楽です。仏教伝来と共に伝えられ、9世紀に唐に渡った最澄や円仁が、比叡山に天台宗を伝えた際に、体系的に確立したといわれています。浄瑠璃や民謡など日本の伝統歌謡の多くは声明を母体としています。

### ヨイクとは

フィンランド北極圏に住む、サーメ人に古くから伝わる民族音楽。トナカイを呼び寄せるために使われたり、自分の心情を伝えるために、独特の節回しでのどをふるわせてうたいます。



天台声明



ヨイク



天台声明・ヨイクの  
コラボレーション

## 世界文化遺産「比叡山延暦寺根本中堂」より スタートした音楽交流

10月19日(金)

比叡延暦寺 根本中堂(滋賀県大津市)は、広大な寺域を持ち、世界文化遺産にも登録されています。当日は、濃霧と雨音の中、「天台声明」と「ヨイク」、「ベルカント」によって音楽交流が行なわれました。のどをふるわせ、独特の節回りで歌われるフィンランドの民族音楽「ヨイク」は、国境を越えて根本中堂に響き渡り、日本で初のコラボレーションとなった「声明」と「ヨイク」の共鳴に、場内の拍手は鳴り止むことはありませんでした。



### お客様の声

「世界遺産の素晴らしい場所での公演、とても良かったです。」

「日本とフィンランド交流が神聖なところで行われ、幻想的でした。普段、このような機会もないし、『ブルーベリーアイ』の原材料のふるさとに触れることができよかったです。」

「「声明」と「ヨイク」を同時に鑑賞できるなんて、本当に良かったー！！」

「また機会があればぜひ参加したい。」

嬉しい声をたくさん聞くことができました。

10月20日(土)、21日(日)

ブルーベリーの植樹やサンタクロースの招待で、わかさ生活に縁の深い丹波市(やまなみホール)と福知山市(福知山成美高校)で行なわれました。法衣をまとった僧侶の厳かな姿から、サーメ人の美しい伝統衣装と「ヨイク」の柔らかい歌声、「ベルカント」の心地よいハーモニーを真剣に聴くお客様から、お互いの文化への関心の深さを感じることができました。両市とも地元の高校生が司会進行を務め、普段はなかなか経験できない音楽交流に、生徒たちも興味深く聴き入っていました。



3日間にわたって行なわれたコラボレーションコンサートには、約2,000人のお客様にご来場いただき、大盛況となりました。ご来場いただいた皆様ありがとうございました。

## 「日本・フィンランド友好プロジェクト」 今後の活動

### 「フィンランド小百科事典」全国の小中学校へ寄贈

日本とフィンランドの子どもたちにお互いの国への理解を深め、好きになってもらいたい、次代への友好の架け橋となってもらいたいとの想いで制作された、フィンランドをわかりやすく伝える「フィンランド小百科事典」(日本・フィンランド文化交流実行委員会発行)24,000部が10月26日(金)に文部科学省へ贈呈されました。贈呈された「フィンランド小百科事典」は、11月より、全国の小・中学校に無料配本されます。



今後もわかさ生活は、「日本・フィンランド友好プロジェクト」を通し、お互いの国の交流を深め、より多くの方にフィンランドや日本のことを知っていただき、興味を持ってもらえるような活動を続けていきます。